

2019年(令和元年)6月29日(土)夕方から30日(日)にかけて、
広島県内の学習塾に通う小学生14名と引率者4名が水産実験所(竹原ステーション)に来所しました。



- A: 多人数での実習にも対応できる本施設内にある大食堂を使用した夕食風景.
- B-E: 夕食後行われたウミホタルの観察実験風景.
- B: 近藤助教によるウミホタルについての講義.
- C: 本施設近海で採集したウミホタルを用いた発光実験.
- D: 配布資料を見ながら、講義を聴く小学生.
- E: 生きたウミホタルを観察する小学生.

F-2



F-1

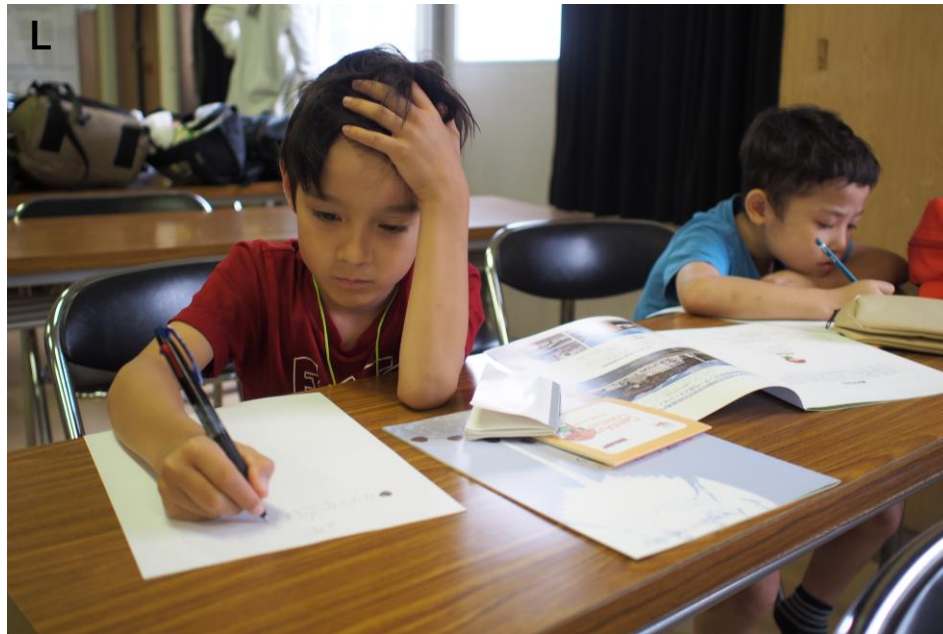
G



H



F-H: 大塚教授によるカブトガニについての講義風景 (30日午前).
 F-1: 子供達にカブトガニの講義を行う大塚 教授.
 F-2: カブトガニの雄と雌の違いを実際の標本を使って説明する大塚 教授.
 G: 講義室に展示したカブトガニ標本を観察し、撮影する子供達.
 H: 大塚教授にカブトガニについての質問をする受講生の子供達.
 (受講した子供達からカブトガニについての様々な疑問・質問を受け付けました)



I-L: 大塚 教授によるカブトガニについての講義風景.

K: 講義中にカブトガニ幼体標本も配られ間近で観察することができた.

L: 講義についての内容を紙に書いている子供達.



- M-Q:** 魚類を使った実習風景。
M: コンテナに入った様々な魚種を見つめる子供達。
実習に使った魚は、すべて瀬戸内海で採集できる魚種。
N: 観察する魚は最低でも1人に1匹が行き渡るように、
近藤助教はじめ本施設スタッフにより用意された。
O: 図鑑を使った種同定が行われた。
P: 種同定について指導を行う近藤助教。
Q: 魚のスケッチを行う子供達。



R: 本実習にTAとして参加した学生（修士）による魚の寄生虫（ウオノエ）についての解説。

S: 大塚教授によるウオノエ標本を使った寄生虫についての説明。

T: 顕微鏡を用いた魚の消化管内容物の観察。

U: 受講生の子供達と大塚教授・近藤助教をはじめとする本実習を担当したスタッフ。



V: 実習船「からぬす丸」を使った乗船実習風景。
(*乗船に当たり安全に十分配慮し行われました)



W: 岩崎船長によるブリッジ内設備についての説明。
X: 船上から実習施設を眺める子供達。